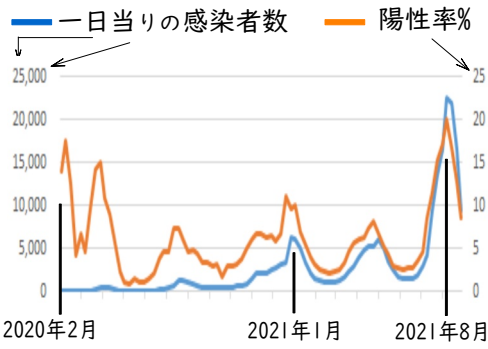




検査したら2割が感染していた

感染者数はNHKのHPから、検査数は厚労省のHPから



時、もし、検査して陽性率一%位なら検査対応を拡げる。しかし、検査範囲外だから見つからない。新規感染者数は増えない。発症しなくても感染者はウイルスを撒き散らす。静かに感染は拡がる。そして一部は発症。再び感染の山が来るのでは？ あなたはどう思われますか？

左のグラフで青い線が全国の一当りの感染者数、オレンジが陽性率(検査した人の中で感染して陽性だった人の率)。八月の感染大流行の時、もし、検査して陽性率一%位なら検査対応を拡げる。しかし、検査範囲外だから見つからない。新規感染者数は増えない。発症しなくても感染者はウイルスを撒き散らす。静かに感染は拡がる。そして一部は発症。再び感染の山が来るのでは？

検査範囲が狭い

九月に入って新規感染者が減っているように見える。しかし、専門家も「どうして減っているのか分からない」と首をかしげる。

象外に感染者は少ないと云える。実際は20%。検査範囲(濃厚接触者)以外にもっと感染者がいた筈。それでも見つけた感染者だけでも隔離すると、その人からの感染が減る。流行が収まったように見える。

検査範囲を上げよ

新型コロナウイルスのエアロゾルは飛沫より遙かに小さく数mも飛び長く漂う。「濃厚接触者」より遙かに広い範囲に感染を拡げる。しかし、検査範囲外だから見つからない。新規感染者数は増えない。発症しなくても感染者はウイルスを撒き散らす。静かに感染は拡がる。そして一部は発症。再び感染の山が来るのでは？

安針塚

三浦按針の墓標

横須賀市塚山公園

二〇二一年九月



十六世紀、ヨーロッパから極東へは地球を東回り、大西洋、インド洋を回る航路をスペインが支配。一方、オランダは西回り、大西洋、マゼラン海峡、太平洋を経る航路を目指した。その船の航海士が英国人ウィリアム・アダムス。苦難の末に一六〇〇年、今の大分県の臼杵に漂着した。それを聞いたカトリックのイエズス会はアダムスらの処刑を主張。しかし、家康はアダムスの話す、ヨーロッパ諸国の対立、西回り航路の開拓という航海の目的等に耳を傾けた。家康はアダムスを二五〇石の旗本として取り立て三浦半島の逸見(みみ)に領地を与え、三浦按針と名のらせた。彼は江戸の商人の娘と結婚。息子のジョセフは遺言によりこの地に墓標を建てた。

